

すこやか VOL.54

医療法人 藤田病院
岡山市東区西大寺上三丁目8-63
TEL (086) 943-6555 (代)



表紙写真 オランダ坂(長崎)

ご挨拶

藤田病院 院長 辻 孝夫



明けましておめでとうございます。今年も皆様が明るく健やかに過ごされることを、スタッフ一同心からお祈りいたします。

さて、現在では2人に1人ががんに罹患する時代となりました。最近の厚生労働

省の統計では、生活習慣の欧米化などに伴い、これまで多かった胃がん、子宮がん以外にも、乳がん、大腸がん、肺がんが増加しています。日本人はがんについてどのようなイメージや知識を持っているのか、民間の調査機関が全国の20〜60歳代の男女1000人にインターネットで調査を実施しました。その結果「がんは怖い病気」と回答した人が全体の約90%を占めることが明らかになりました。

さらに「将来、自分ががんになる可能性がある」と思っている人は55.3%で半数を超えました。理由は「身内にがんになった人がいる」(56.8%)が最も多く、次いで「運動不足」、「たばこを吸っている(いた)」、「ストレスを抱えている」などが続いています。

また、「がんになった場合に心配すること」では、「死」(55.5%)や「痛み」(53.3%)と共に「治療費(経済的負担)」を心配する人が最も多くなり、全体の72.3%に上ることもわかりました。

ほかにも、がん予防やメカニズムに関する質問も行い、「がん予防のために心掛けていること」では、「禁煙」が最も多く、次いで「食生活の改善」「ストレスを抱えない」「生活習慣の改善」が続きましたが、「特に心掛けていない」という人も40%いました。

しかし、男性では、胃、大腸、肺、前立腺、肝臓、女性では、大腸、乳房、胃、子宮、肺の順にがんが多く、具体的には、早期の検査を一度は受けておくことが予防につながると思います。

がんは正しい知識を身につけて予防や早期発見・早期治療を行えば、決して怖い病気ではありません。何も症状がない人でも、がん検診をきちんと定期的に受け、気になることがあればお気軽に当院の職員にご相談ください。

レントゲン装置が 新しくなりました

透視
装置

ポータブル
撮影
装置

一般撮影
装置

一より確実に病気を発見

藤田病院では平成24年9月よりレントゲン透視装置を最新型デジタルX線装置に変更しました。この装置はバリウムを飲んだの胃の検査や、骨折した骨の修復、内視鏡を利用しての胆のうの検査などに使用します。従来の装置と比べ、画像の端までゆがみのない大きく、鮮明な画像が特徴で、胃がんや胃かいようななどの病気をより確実に発見できます。

一低被ばくで安全な検査

また、放射線量を少なくし、撮影時間も短縮するなど低被ばくで安全な検査が行えます。他にも、血管造影検査、泌尿器科の検査、全脊椎を1つの画像に収めることも可能になりました。さらに、乗降する際は、透視撮影台の高さが床上48

センチまで下がるので検査台へ腰を掛けるだけでスムーズに移動できます。

一3機種同時に!!

また、胸部・腹部を撮影する一般撮影装置と動けない患者様の病室まで行き、レントゲンを撮るポータブル撮影装置も同時に新しくなりました。透視装置を含め、一気に3機種を変更し、ますます患者様のお役に立てるのではないかと思います。今まで以上に、安心して良い検査を受けていただけますよう放射線技師一同頑張りますのでよろしくお願いたします。



レントゲン透視装置

上と経過は良好です。

乳がん検診は「問診」「視触診」「マンモグラフィ(乳房X線検査)」が基本です。この検査は乳房をプラスチックの板で挟んで平たくし、専用の装置で撮影します。少し痛みがありますが視触診ではわからない小さな乳がんを発見するのに威力を発揮します。

当院では毎週水曜日と土曜日(第4土曜日は除く)の午前中に担当の医師が診察しております。また、女性の放射線技師が撮影

しますので安心して検査を受けていただけます。乳がん検診を希望される方は受付にてお声掛けください。



乳がん検診を 受けましょう

現在、年間に約1万人の方が乳がんで亡くなっています。早期発見が大変重要で、早期に見つければ比較的治りやすいがんと言われています。乳がん検診を無症状のうちに受診すれば乳がんが発見されても早期の可能性が高く、その段階で治療すると5年生存率は90%以